

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学専門演習Ⅱ			必修	2	3	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
瀧口 綾 他		B305	atakiguchi		木曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要		<p><目的>「福祉心理学専門演習Ⅰ」で学んだ心理学を中心とした心と脳の働きに関する基本的な知識や理解をさらに深めるとともに、人間社会で起こっている現象や多様な関係性について理解するために必要な知識や技術を修得することを目的とする。</p> <p><概要>課題を実施し発表、全員で討議を行う。</p>				
学習上の助言		授業内容に関する質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書		教科書は指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書		特になし。				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理学等に関する基本的な知識を深め、理解することができる。				HSU(1)、心(1)、(2)	
②	心理学等の専門的知識を生かし、人間社会の現象を理解できる。				心(1)、(2)	
③	多様な関係性について理解し、実際の場面で活かすことができる技術を身につける。				心(2)	
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	「福祉心理学専門演習Ⅰ」の総括及び各自「福祉心理学専門演習Ⅱ」の学修目標について発表を行う。	講義・演習	発表の準備を行う。互いに質疑応答を行う。			2
2	キャリア心理学(12) 自己理解の重要性と社会情勢を踏まえた社会貢献の方法などの概要について学ぶ①	講義・演習	自己理解の重要性と社会貢献について調べる。			3
3	キャリア心理学(12) 自己理解の重要性と社会情勢を踏まえた社会貢献の方法などの概要について学ぶ②	演習	自己理解の重要性と社会貢献について調べ学んだことを整理する。			3
4	キャリア心理学(13) 自己理解の重要性と社会情勢を踏まえた社会貢献の方法などの概要について学んだことを発表、討議を行う。	演習	自己理解の重要性と社会貢献の概要について学んだことを整理し、発表の準備を行う。			7
5						
6	キャリア心理学(14) キャリア形成の視点から自己分析の方法及び自己理解及び自己に関する表現方法について学ぶ①	講義・演習	自己分析の方法について調べる。			3
7	キャリア心理学(14) キャリア形成の視点から自己分析の方法及び自己理解及び自己に関する表現方法について学ぶ②	演習	自己分析の方法について調べ学んだことを整理する。			3
8	キャリア心理学(15) 自己分析を行い自己理解を深めるとともにその結果を踏まえた社会貢献の方向性についてまとめ、発表、討議を行う。	演習	自己分析の結果をもとにした社会貢献について発表の準備を行う。			7
9						
10	専門領域に関するプレゼンテーションを行う。心理学等の一般教養を学ぶ意義	演習	発表、討議の準備を行う。			6
11						
12	人間社会の理解(4) キャリア形成の場としての企業及び業種や職種について学ぶ①	講義・演習	関心のある企業及び業種や職種について調べる。			3
13	人間社会の理解(5) キャリア形成の場としての企業及び業種や職種について学ぶ②	演習	企業及び業種や職種について調べ学んだことを整理する。			3
14	自己分析の結果と企業・職種に関する学びを整理し、発表、討議を通して「福祉心理学専門演習Ⅲ」に向けて学習目標をたてる。	演習	自己分析の結果をもとに関心のある企業及び業種や職種について整理し、キャリアに関する意見発表の準備を行う。			20
15						
試						

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		0	0	60	0	40	100	
総合力指標	知識・技術力	0	0	5	0	5	10	
	思考・推論・創造する力	0	0	5	0	10	15	
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	5	10	
	発表・表現伝達する力	0	0	25	0	0	25	
	コミュニケーション力	0	0	10	0	5	15	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	0	0	10	0	5	15	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①	✓	3種の発表会において、求められる課題テーマに応じて、現代社会の諸問題に関する心理学的知識を踏まえた上で、自ら発見・思考した内容をコミュニケーション豊かに表現する発表となっているか、その内容や技術などについて総合的に評価する。				発表後に講評及び解説、さらに以後の講義で成長に必要な取り組み課題を指摘する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	発表会の準備及び持続的な修正に対して真摯に取り組み、各ゼミ内における発表予行でも必要十分なグループ検討への参画を担える積極的な意欲・態度について、総合的に評価する。				毎回授業時に個々にコメントを加えた上で、次回までの改善点を指示する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
<p>学生は必ずいずれかの教員のクラスに所属すること。 担当教員：◎瀧口 綾、鈴木 真吾、高田 毅、柁木 隆寿</p> <p>Teams の各クラスで諸事の連絡を行いますので必ず確認を怠らないこと。また、全 15 回が登校授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがあります。その場合、授業は欠席として取り扱います。 なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。</p>								